

第23回甲府市中心市街地活性化協議会議事録

1. 開催日時 令和元年5月16日（木）午後1時30～午後2時40分
2. 開催場所 甲府商工会議所 201会議室
3. 委員出席者 9名（本人出席8名、代理出席1名、別添名簿参照）
4. オブザーバー出席者 2名（別添名簿参照）
5. 事務局出席者 甲府商工会議所 事務局長 越石 寛
LLCまちづくり甲府 リーダー・業務担当 志村 修
" 企画担当 渡辺 一博
" 総務担当 古屋 利行
6. 甲府市出席者 甲府市企画部企画課 課長 石川 瑞奈
" 係長 土屋 修吾
7. 議 事 1) 甲府市中心市街地活性化基本計画に対する検証について
2) その他
8. 議事内容等

開会の後、進藤会長は、「甲府市中心市街地活性化基本計画に対する検証について甲府市より説明いただき、委員各位の意見を伺う」旨のあいさつを述べ、その後、当会規約第12条により議長に就任した。

1) 甲府市中心市街地活性化基本計画に対する検証について

議長は、甲府市中心市街地活性化基本計画に対する検証のため、計画の概要およびその進捗状況等について甲府市に対し説明を求めた。この求めに応じ、甲府市企画課石川課長、土屋係長が説明を行った。

説明の概要は以下のとおり。

1. 本協議会開催の趣旨について

中心市街地の活性化に関する法律及びそれに伴う基本方針に基づき、中心市街地活性化基本計画の期間中、毎年、設定した数値目標の確認及び取組みの進捗状況等について検証することとなっている。昨年4月から本年3月までの1年間の進捗状況等を検証し、本協議会の意見を付し国に報告するため、本協議会を開催していただいた。

2. 本計画の概要、進捗状況等について

配付資料に基づき、本計画の基本方針、活性化の目標、活性化に向けた主な事業及び効果と指標状況について説明がされた。

甲府市からの説明を受けた後、議長が議場に意見を求めたところ、委員から以下の意見等が出された。

進藤議長：デュオヒルズ甲府の居住状況について説明いただきたい。

土屋係長：124戸中、平成31年3月31日時点で109件が成約している。その内何人が居住しているかの報告はないが、甲府市にて入居に際し補助を行っており、76世帯137人がその制度を活用し入居している。

丹沢委員：韮崎のまちづくりに関わっている。若い設計士や若い感覚を持った方が、空き家をリノベーションして、若い方がそこで起業したり、来店するといった街は、徐々に元気になってきている。まちづくり甲府が取り組んでいる空き店舗対策を、もっと強力に進めたら、もっと早く甲府の街が元気になるのではないかと。そのためには、リノベーションをするデザイナー等を行政がバックアップして、街全体をデザインするデザイナー等を集めてみてはどうか。ただ単発的に空き店舗対策をするのではなく、もう少し大きなスタンスでものを見ていく必要がある。いろいろな街を見てもそのような傾向が強いと感じる。また、県外から観光客を呼べるまちづくりを進めると、より賑わいが創出できると思う。

土屋係長：リノベーションについては、甲府市商工課にて取り組みを進めている。ご指摘頂いた通り、個々の店舗の改修が目的ではなく、エリアの価値向上を念頭に取り組みを進めている。

まちづくり甲府副：甲府リノベーションまちづくり推進委員会にて、中心市街地のまちづくりをどのように進めていったら良いかランドデザインを考えたり、公共施設の活用を企画し、当委員会を主体に街を変えていこうと取り組んでいる。都市のデザインを建築家が描くことにより、ビジュアル的にも共有することが可能になると思う。

丹沢委員：設計士がそこに住んだり事務所を持ったりして、実際にまちづくりに参加し、まちづくりに取り組む人たちと近くなるようなになれば良い。物件を貸す人、借りる人との人間関係を作り、人間的なふれあいの中で取り組めばまちづくりも早く進むのではないかと。

永田委員：朝日通り商店街も、かつては物販が中心であったが、最近は事務所が多くなってきており、商店街を構成する業種が変わりつつある。朝日通り商店が元

気があると評価されていることから、最近では出店希望者も多い。先般も30代の男性から相談があった。まちづくり甲府の空き店舗対策の効果が出てきていると思う。

進藤議長：朝日通り商店街は、電線が地中化されてきれいになっている。街路もきれいになっているので、人の流れが生まれるように考えていきたい。

永田委員：かつての人の流れを何とか再現したいと思っている。

丸茂委員：高齢化が進む・外国人が増えるという中で、人種・宗教・性別・高齢者・若者等あらゆる人を対象とした事業が行われていくわけだが、安全安心ということから考えると、進めている事業は様々な方に対応しているのだろうか。車と歩行者との安全を確保しながら、歩いて楽しい回遊道路、かつ魅力的な店舗もある等、ユニバーサルデザインを確認しながら事業を進めていくべきと思う。

森澤委員：銀座通り商店街の歩行者通行量が少ないのが寂しい。平日はまだ良いが、日曜日は厳しい状況。第2土曜日などが起爆剤になれば良いと思う。交通事故の危険を避けることが難しいので、カードレールによる歩道の安全性の確保など整備を進めて欲しい。

藤田代理：かつて、現在の立正佼成会の場所が売却される時、地場産業センターかいてらすに年間36万人の来館者があったので、この場所にリニューアルオープンしたらどうかと提案した。ネット通販、大型ショッピングセンター等により、現在商店街で買い物する魅力は総じて低下している。では、何のために商店街、中心街が存在するかといえば、そこに行く楽しみだと思う。市外やインバウンド客を呼び込むには核となるものがないと回遊できない。リニア開通も含めランドデザインを考えていかなければならない。市内に住んでいるが不便に感じることもある。魅力ある核をどこに作るかが大切。

雨宮委員：岡島百貨店の入店客数が、今年の12月から増加している。夕方に若い方が増えていることが要因。商店街としても良い傾向であり、その要因は、ちょっとエッジの効いた魅力的な飲食店が、かすがも一周辺にあるので、飲食する前に立ち寄って頂いていると感じている。また、化粧品売り場を強化しているので、そこでの集客も効果的であると考えている。特に駐車場環境が良い紅梅通りからの入館数が圧倒的に増えている一方で、それ以外が駐車しにくいといった意見もある。見直す点は見直し、街としても自由に回れる駐車場の整備は重要である。他力本願でなく、自らも核となって直していかななくてはならないと感じている。また、百貨店の店づくりも、まちづくりも同じと思っているが、目的があって来る店、消費と目的がなくても楽しそうだから行ってみる店と、このバランスが調度良いと用事がなくても来ると思うが、残念ながら百貨店も商店街も目的はあるが、なんとなく楽しそうだから行ってみようという部分が欠けているので、もう一つ賑わいが伸び切らないと思う。商品でいうと雑貨系。ファッション性や機能性がある商品がもう少

しあればよいのではないか。今後のまちづくりの方向性として、先ほどのディズニーのイベント時もそうだが、イベントは大切だが、いろいろな店が参加できるムーブメントが、普通の営業活動の中でできる仕掛けがあると当事者の活気が出る。その点が他力本願になっているのもうひとつ賑わいに欠けていると感じている。

進藤議長：甲府市からの説明では、概ね計画が順調に推移しているとあるが、岸川委員より総括いただきたい。

岸川委員：表面上の数字は順調に推移しているとの報告であったが、歩行者通行量調査についても、実際のところは毎年同時期に行っているだけ。イベントがあれば数値が変わってくることもあり、参考値程度とご理解いただきたい。現在、飲食店の出店も増え、街に活気が出てきたといわれている。歩行者通行量が減少している地点でも、夜間では違う数値となるかもしれないので、様々な技術を活用し、今後は違った数値も計測していきたい。歩行者通行量は、経年の変化を比較する意味では重要であるが、今後は違う見せ方も検討して行きたい。百貨店の場合でも、どの入り口から、またどの時間に入館者が多いかも重要である。自身が幼少期の頃は、世の中の母親は働いておらず、昼間に街中で買い物することが当たり前だったが、現在は女性も働き、従来の様な昼間の人通りを求めることは、ライフスタイルの変化もあり少し難しい。ただ、特定の時間には人が出ている可能性もあることから、人の動きについて、オープンになっているデータを分析し、まちづくりに活かしていくことが必要である。それができると、ユニバーサルデザインについても、本当に必要なところがデータによりわかるので、そこをピンポイントで対応することが必要である。皆様からアイデアを頂いたり、お客様の動きを教えてください。今までは違うデータを活用したまちづくりを進めていきたい。デュオヒルズ甲府については、投資物件として、県外で買っている人が多く、住んでいない状況と思う。出して良い情報を持ち寄って、当協議会も中心市街地活性化基本計画の検証だけでなく、取り組んだり調査したりすることも行っていけたらと考えている。

越石局長：平成19年に当協議会を設立した。当時の状況を振り返ると、歩行者通行量は今より多かったが、街の雰囲気は暗かった。全国の地方都市の中心街からお客様が撤退していた。その時より歩行者通行量は減少しているが、様々な環境整備が進み、甲府の街の雰囲気は明るさを取り戻したと感じている。歩行者通行量については、ポイントごとの上下はあるが、増加傾向になってきている。かつてまちづくりの先進的な取り組みを行っていたまちづくり長野を視察をした時、タウンマネージャーが「いくらソフト事業を行っても、ハードが変わらないと街は変わらないし人は出てこない」と言っていたことが、何となくわかった感じがする。今後どのように取り組んでいけば良いかは、丹沢委員がおっしゃったように、街にデザイナーなどが入り込み、街に設計していくようなことがあれば良くなっていくのではないかと。まちづくり甲府でも柳小路をリノベーションする新しい事業を行ったり、甲府城南側の開発を観光客に来てもらい定住人口の増加にもつなげていくことを進めていか

なければいけないと思っている。

オブザーバー

古澤課長：ハード整備とソフト事業をきちっと取り組んでいく必要がある。ハード整備は一過性だが、ソフト事業は継続して行わなければならない。朝日通り商店街は、外の人に商店街にどのように目を向けてもらおうかということを考えていたと思う。甲府一高、甲府工業、駿台甲府等、学生が行き交う流れがあり、長いスパンで取組むという継続性がまちづくりにつながっていると思う。甲府駅の北口も南口も、長く賑わって欲しいと思うので、ソフト事業は大切である。分析し試行しながら取り組んでいくしかないと思うので、山梨県としても関係機関と連携して取り組んでいきたい。

岸川委員：甲府城南側のお城フロントにある甲府税務署跡地については、甲府市が購入するという形でまとまった。本来であれば、信玄公生誕500年までに何か形をとということであったが、その頃までに解体が終わっているという程度になると思う。甲府城も国史跡の指定を受け、更に甲府税務署跡地については、樋口市長の熱い思い入れもあり、小江戸甲府という形で、できれば小江戸文化が楽しめる施設を作りたい。先ほどハード、ソフトという話があったが、単に広場にするだけでは人は集まらないので、箱物は作る必要があると思う。交流施設という形で、昔でいえば歌舞伎や落語を楽しんだことを、現代風を楽しむということをして現在考えている。また、山梨県においては知事が変わり、少し判断が遅くなるかもしれないが、県立博物館や美術館のガイダンス的なものとして、その一部を甲府城の周りに持ってくるといったことも検討している。お城周りを盛り上げられる要素が少しずつ増えてきたので、土地は甲府市が持つことになったので、積極的に関与して皆様の意見を伺い、このような施設にして欲しい、このようなアイデアはどうか、などの意見をいただきたいと思っている。

進藤議長：半年ほど前の話だが、中央官庁の方が甲府市に来た時に、甲府市はコンパクトシティのモデルケースになるのではないかと話していた。何故かというと、山梨県の地図の中で甲府市はほぼ真ん中にあり、他府県を見ても県庁所在地がその真ん中にありその県が一つの商圈になっているところはそう多くはない。甲府駅の近くにすぐ県庁や市役所があり、甲府城を中心とした公園があり、最近ではマンションが建設されている。このような状況を見ると、コンパクトシティのモデルケースになれそうな場所だという話だった。コンパクトシティということになると、そこに住んでいる人たちが満足感を得られる街でなければならない。中心市街地に住んでいる方々が良い街だと思えるようなまちづくりをすることで、外からもお客様が訪れるようになると思う。県都甲府が賑わいを取り戻せるように皆様方と知恵を出し合っていきたい。

2) その他

事務局志村より、4・5月にかすがも一を車両通行止め（歩行者天国）に

して開催した、甲府中央商店街第2土曜日・こどもマルシェの概要について資料を基に説明した。

進藤議長：中心市街地活性化基本計画もあと残り2年。是非当初の目的が達成できるよう引き続きご協力をいただきたい。

議長は、その他に意見等がないことを確認し議事を終了し閉会を宣した。

第23回甲府市中心市街地活性化協議会 出席状況

役職名	委員名	所属名・役職名	5/16
会長	進藤 中	甲府商工会議所 副会頭	○
副会長	長坂 善雄	甲府商店街連盟 会長	×
〃	雨宮 潔	甲府市大型店協議会 会長	○
〃	長田 幸夫	(株)山梨中央銀行 常務取締役	○
委員	丸茂 紀彦	甲府商工会議所 相談役	○
〃	高野 洋志雄	甲府中央まちづくり(株) 代表取締役	代
〃	岸川 仁和	甲府市 副市長	○
〃	金丸 康信	合同会社まちづくり甲府 代表社員 甲府商工会議所 職務執行者	×
〃	丹沢 良治	NPO法人街づくり文化フォーラム 理事長	○
〃	木造 雅隆	甲府中央商店街新生協議会 会長	×
〃	永田 和孝	朝日通り商店街(協) 代表理事	○
〃	渡邊 泰夫	ココリ管理組合 理事長	×
〃	雨宮 正英	山梨交通(株) 代表取締役	×
〃	加々美 富明	春日地区自治会連合会 会長	×
〃	清水 明	春日地区自治会連合会 副会長	×
〃	牛奥 久代	甲府市女性団体連絡協議会 会長	×
〃	森澤 昌子	子育て支援団体ハッピーキッズ 代表	○
オブザーバー	古澤 善彦	山梨県 商業振興金融課 課長	○
〃	岡 健一	甲府警察署 交通課 課長	○

○=出席、×欠席、代=代理出席